

ホーム名：グループホームぷも1階						
自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域交流を深まる為にも、出来るだけ利用者が地域に出て、散歩や買い物、ふれあい喫茶等に参加している	多民族共生社会の実現を基本に地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を掲げている。管理者を中心に日々のサービス提供場を振り返り、理念がケアに反映されているのか確認されている。	地域特性を踏まえた理念の実践の1つとして、事業所で働く職員一人ひとりが、事業所理念の理解を深め、利用者に関わる際に、理念を具体化していくことを意識していかれることに期待をしたい。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	ふれあい喫茶に、毎月参加する。また地域の祭りや、イベント等にも参加する	自治会に加入し、地域のふれあい喫茶への参加を中心に地域の各種イベントへ参加をされている。地域との交流の場として活用しながら、地域に暮らす住民の一員として、地域貢献に努めておられる。	事業所が商店街の中にあり、商店街の方との交流も増えてきている。今後も地域とのつながりの大きな1つの取り組みとして期待をしたい。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ふれあい喫茶と運営推進会議を活用させて頂き、北鶴橋小学校のいきいき学級の児童にも参加して頂き、世代間交流を開催する。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、ご家族にはあまり参加して頂けないが、町会長などには多く参加して頂いている。また施設の理解もして頂いている	地域の自治会、地域包括、法人が運営する近隣の介護事業所職員出席され、事業所からの状況報告とともに参加者からも質問、意見、要望等が上がり、双方向的な会議が行われている。	議事録には、会議状況報告の議事以外に決定事項、質疑応答、宿題等に分類整理し、次回の会議では前回の議事録確認から開始されてはどうか。又、議事録を家族とのコミュニケーションツールの1つとして活用方法を検討されてはどうか。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	区役所や、地域包括支援センター等との連携は図れています。	区役所職員は、運営推進会議に参加されていないが、議事録は送付されている。区役所からの指導受け入れ等を通じて、区役所と相談等しやすい関係を築かれている。	地域特性を踏まえた事業所現場での課題や問題の解決には、区役所職員に現場の状況を把握して頂くことも必要になると思われる。区役所職員の研修の場として活用してもらって検討をされてはどうか。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	玄関の施錠については、不審者が多いので危険回避の為に施錠しています。その他身体拘束については、緊急性、切迫性等ある方は、家族の同意を頂き、拘束を行っている場合があります。しかし、身体拘束ゼロに向けて努めています	各職員向けに研修を行い、会議等で職員同士が意見交換を行い、身体拘束を防止している。事業所が商店街の中にあり、防犯対策の1つとして、利用者の安心と安全を確保するため、玄関は施錠されている。	身体の物理的拘束以外に、スピーチロックやドラッグロックによる薬物の過剰投与や不適切な投与で行動を抑制することも身体拘束につながると思われるようになってきているので、意識されているとは思いますがそうでない場合は、意識してケアに取り組んで頂きたい。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所不在での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止については、参考資料を閲覧できるように設置している。さらに、職員が知識を共有できるように、月1回の会議でも話し合いをしている			

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>親族がいない方には、成年後見人の申請、または安心サポート等活用しています</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>行っている</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>電話でのやり取り、面会に来られた時など対応した時に、コミュニケーションを図り、要望などを聞き取り対応している。</p>	<p>家族には事業所訪問時等で常に声がけを行い、出された意見、要望等は職員、管理者と話し合いが行われ、運営に反映できるものは反映させている。</p>	<p>家族からの意見や要望等が少ないため、家族との交流を深める1つとして、SNS等のICTを活用して利用者の状況をタイムリーに伝える取り組みも検討されてはどうか。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>会議で意見交換を行っている。また、個別で相談等も聞いている</p>	<p>管理者は、職員からの日々の利用者との関わりの中での気づきや考えを聞き、運営に反映されている。管理者は、職員とともに運営の改善に取り組んでいる。</p>	<p>把握した職員からの意見等は、スマホ等の音声文字変換アプリ等を活用し、その場でデータとして記録しておけば、例えば、職員会議欠席者との情報共有の正確生も高まると思われるので、検討されてはどうか。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>勤務状況を把握している。また話し合いの場を設けている</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人には、オリエンテーションを設けている。また、包括主催の研修にも積極的に参加している</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡会に、参加しており、情報交換を行っている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>認知症を理解した上で、利用者に関わる。まずは傾聴する事。相手を理解して、信頼関係を築く</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者の様子を丁寧に、家族に伝える。又それに対する要望等を聞き、何を求めているか理解し、連絡を密に行う</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者と家族の真のニーズを聞き出し、聞き出した事を包括の職員に問う、どのようなサービスが適しているか、聞き判断して頂く</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日頃、利用者同士コミュニケーションとりやすいように、職員からのアプローチを試みるようにしている</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族との連絡は密に取り合い、利用者の様子を日々連絡している</p>		
20	<p>8</p> <p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>外出で買い物や散歩にされるので地域との関係は遂げれないように努めている。</p>	<p>事業所が商店街の中にあるという立地特性を活かし、利用者がこれまで利用されていたお店等の利用を継続しながら、地域との関係性が維持継続できるよう日頃のかかわりの中で様々な工夫をしている。</p>	<p>入居するとこれまでの関係性が途切れがちになりやすいと思われるが、商店街の中に事業所があるという立地特性を活かし、新たな地域と利用者の関係性を築くことも可能と思われるので、取り組みの1つとして期待をしたい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>自助、公助、共助の共助を大切に利用者同士助け合う関係性が出来ている</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後も、要望があれば対応している</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人意向に出来るだけ寄り添えるように現場で積極的に話し合いを持っている。	管理者と職員は、利用者が望む暮らしや何をしたいのか等を理解するために日々のケアの中で利用者に声を掛け、会話を大切にしながら、把握に努めている。	把握した利用者の意向や思いは、スマホ等の音声文字変換アプリ等を活用し、その場でデータとして記録しておけば、例えば、職員間の引継ぎ時、正確生も高まると思われるので、検討されてはどうか。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	家族に聞き取り、生活歴を参考にし、サービスの向上に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	提供記録を丁寧に記録し、現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	一ヶ月に一回会議を開催して話し合いの場をもつとともに日々現場での気づきをプランに反映できるようにリーダーを元に介護計画を作成している。	本人の視点にたつてその人らしい暮らしを続けられるために、必要な支援を盛り込んだ介護計画を作成されている。又、本人の変化があれば、必要に応じて介護計画は見直しされている。	本人の状態の変化や期間に捉われず、又、本人や家族等からの新たな要望や意向がないような場合でも、本人との日頃のかかわりの中での思いや意見を大事にされ、必要に応じた介護計画の見直しに取り組んでいかれることに期待をしたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	提供記録を丁寧に記録している。また記録を基に会議を行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	緊急搬送時や、緊急時は迅速な対応を行うと共に、家族への連絡も怠らないように努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域に出て、買物をしたり自己決定して頂き、様々なニーズに応えている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	体調の変化があれば、看護師に連絡し、医師へ報告している	協力医療機関による往診医療を受けられている。往診時、職員から利用者の体調の変化等を説明されている。	利用者の日々の体調記録管理に、タブレットによる記録入力アプリを活用されてはどうか。記録入力されたデータは、往診前に協力医療機関とデータによる連携も可能となり、往診時の効率化にもつながると思われるので、検討されてはどうか。

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>日々の生活で、バイタルの変動や、表情や、体の動き、排便の状態等、些細な情報も、看護師に報告して、助言を受けて支援しています</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>病院のMSW等と、密に連絡を取り合い、必要があれば病院に足を運ぶ等して、情報交換に努めている</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医の判断で、重度化した場合、終末期を迎える利用者がいた場合は、主治医に家族等に、話し合いを持ちかけ、今後の対応を伝えて頂けるように、取り組んでいます。また、介護職員もチームケアで、迅速な対応を出来る様な、体制を整えている</p>	<p>事業所としての重度化や終末期の看取り方針の策定はこれからとなるが、入居時の本人と家族に説明はされている。協力医療機関と事業所が連携をとり、本人と家族が安心して重度化や終末期を過ごせるように考えておられる。</p>	<p>重度化や終末期の対応では、様々な状況の変化に日々、迅速に対応していくことになるかと思われるが、本人や家族の不安な思いに寄り添いながら、対応されていかれることに期待をしたい。又、事業所でできることとできないこともあるため、重度化や終末期に向けた方針を策定されることも検討願いたい。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時には、すぐに看護師に連絡する様にしています。訓練は行っていない</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練は、おこなっている</p>	<p>年2回の防火訓練が実施されている。想定される火災に対し、消防署職員から、最適な避難対策のアドバイスを頂きながら、避難訓練で実践されている。</p>	<p>災害の発生は予測できないが、地域に応じた想定される災害による具体的な影響はある程度、把握できるかと思われる。そこから、考えられる現実的な避難対策を検討され、訓練が常態化しないよう内容にも工夫をされていかれることに期待をしたい。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定期的に行っている会議で、話し合いを行っている	地域特性を生かした利用者に対する人格尊重とプライバシーの確保に努めるため、人権研修にも力を入れている。理念にも掲げられている通り、利用者を自分の親のように尊敬していくケア実践されている。	地域特性を生かした利用者の人格尊重とプライバシーの確保を、全職員で維持していくことは難しいことあると思われる。職員間で日頃のケアの中で、常に具体的に確認しあうことを大切に取り組んでいかれる事を希望します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定出来るように、提供している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の、強みを引き出し自立支援にも、努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪の毛を染めたり、ご希望があれば対応させて頂いている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けが出来る人には、行って頂けるように支援しています	食材を仕入れ、担当職員が調理をされている。利用者には、できる範囲で、配膳や下げ膳、洗い等を担当してもらい、職員と利用者が一緒に食事を楽しむことを大切にされている。	今後も継続して、調理、盛り付け、配膳や後片付けなどを、利用者個々の力を活かしながら職員と利用者が一緒に行う機会を通じて、利用者一人ひとりが食事を楽しんでもらえよう努めていかれることに期待をしたい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	食事量や水分量は、記録に残しており、記録を参考にして、支援に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後と、就寝前に口腔ケアを行っており、毎週火曜日には、訪問歯科が来る		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	声掛けをして、出来るだけトイレで排泄が出来るように、努めている	職員一人ひとりの排泄チェック表に基づき、職員は利用者の排出パターンにそった排出介助が行われている。トイレでの排泄を大切にしながら、本人の状態に合わせてオムツ等も検討されている。	地域特性上、一人ひとりの人格を尊重しながらの自立排泄は苦勞も多いと思われる。これを支える排泄の適切な介助と知識の向上も必要になると思われるので、人格尊重と技術&知識の両輪をベースに取り組んでいかれることに期待をしたい。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の有無が、分りやすいように、排便チェック表を使用している。便秘があれば、下剤を服用して頂く等、看護師や医師との連携を図って支援している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	予定表はあるが、利用者のその日の希望に合わせて、毎日入浴の準備が出来るように、努めています	2日に1回で入浴予定を立てているが、利用者の希望にあわせて、入浴タイミングを調整している。お湯はオーバーフローにより、清潔な状態を維持されている。又、機械浴の設備により、利用者の状態に合わせた入浴介助を提供している。	今後も継続して、利用者の状態や希望にそった入浴時間帯の調整を行いながら、入浴の場を利用者の思いや意向を確認できるコミュニケーションの場としても活用されていかれることに期待をしたい。

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>室温、環境整備、等に心掛けている。就寝時間も、利用者の希望に合っている</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>医師、薬剤師、看護師と連携し、また与薬者、準備者、確認者と服薬する際に、ダブルチェックも行い、服薬の支援に努めている</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人一人の生活歴等を把握しやすいように、フェイスシートを設置している。生活歴や日頃の会話からニーズを引き出し、実現出来るように努めている</p>		
49	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>真夏や真冬は、外出を控えるが、利用者の希望があれば、外出できるように支援している。</p>	<p>利用者が事業所の中だけで過ごすに日常的に外出できるように利用者の希望に応じて、商店街への買い物や散歩等を楽しんでもらえるよう努めている。又、事業所のイベントによる外出も定期的に行われている。</p>	<p>事業所が商店街の中にあるという特性を活かし、利用者が日々、気軽に買い物や食事、散歩等を楽しめることができることと、同じ法人の施設が近隣に多数あるので、その入居者や職員との交流も増やしていけることに期待をしたい。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いが、欲しい利用者には、ご希望された日に、手渡してスタッフ同行し、買い物支援に努めている</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>あらかじめ、家族に了承を得てから、家族のご負担にならないように支援している</p>		
52	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生</p>	<p>居心地良く、環境整備や清潔に保てるように、努めている。また清掃等、出来る利用者には、励んで頂いている</p>	<p>共有空間のテーブルや椅子は、利用者や職員が動きやすいように動線が確保された配置となっており、利用者と利用者、利用者と職員が日常的に過ごしやすい空間となっている。</p>	<p>飾りつけ等、利用者の家族や地域の方等からの気づきや感想、アドバイスも参考しながら共有空間のづくりに取り組んでいかれてはどうか。又、家族との交流を深める1つの方法としても考えてみられてはどうか。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>椅子やテーブルを配置して、一人ひとりの座る場所が決まっている</p>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>慣れ親しんだものを出来るだけ居室においていただくようにしている。筆筒やテレビ。</p>	<p>各居室は、利用者の人格が尊重され、プライバシーが確保されている。又、利用者の思い出の品が持ち込まれ、飾りつけされており、利用者が心地よく過ごせる空間となっている。</p>	<p>継続してその人らしい居心地がよい居室づくりに取り組んでいかれる中で、家族とも相談しながら、工夫されていけることに期待をしたい。又、家族との交流を深める1つの方法と考えてみられてはどうか。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自立支援に努めていて、利用者の出来ることは、継続して励んで頂き、認知症の進行を防ぐように努めている</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない